

## 令和元年度 第5回 坂井市子ども・子育て会議 議事概要

日時	令和元年12月10日(火) 午後7時～
場所	坂井健康センター1階
出席者	委員：石川会長 水野副会長 堀田委員 清兼委員 平田委員 渡辺委員 蓬莱谷委員 近藤委員 事務局：三田部長 西次長兼課長 坪内課長補佐 江川課長補佐 長谷川課長補佐 前田課長補佐
欠席者	4名
協議事項	第2期坂井市子ども・子育て支援事業計画(素案)について 今後のスケジュールについて
資料	第2期坂井市子ども・子育て支援事業計画(素案) 第2期坂井市子ども・子育て支援事業計画に係る今後のスケジュールについて

### 1. 開 会

### 2. 会長あいさつ

#### 【会長】

出席委員数の確認 12人のうち4名欠席、8名出席。過半数以上出席なので会は成立、開始。  
傍聴人なし。

### 3. 議題

#### (1) 第2期坂井市子ども・子育て支援事業計画(素案)について

##### ① 第4回会議におけるご意見について

(鈴木委員からの意見シートの内容について)

#### 【事務局より説明】

- ・第4回会議における意見
- ・前回会議欠席の鈴木委員からの意見紹介

坂井町のスポーツ少年団の数が少ない、盛り上がっていないと感じた。市ではA評価となっているが、町別で見るとどうかと思った。

→担当課 登録団数、登録団員数、年々減少傾向にあるが町別で検証すると令和元年度の三国町のスポーツ少年団数は8団体、団員数118人、坂井町9団体、団員数243人で、人口比で見ても団体数・団員数ともに三国町より多い。A評価の理由は、指導者がスポーツリーダー認定委員養成講習会に参加することにより、よりよい指導を行えるようになったという実績によるもの。

【会長】

前回の会議でご意見いただいたことに対する文言等の修正、鈴木委員から出されたご意見に対する説明でした。ここまでの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

② 基本的視点の現状と課題の記載内容の変更について

【事務局より説明】

【会長】

ご意見、ご質問はあるか。お気づきの点はないか。

【委員】

43 ページ「孤立した母親が～」の部分。今の時代、「母親」でなくて「親」だけでよいのでは。

③第6章 推進体制について

【事務局より説明】

【会長】

ご意見、ご質問はあるか。

坂井市の内部のことはよくわからないが、「全庁的に広く連携する」ということについて、庁内で会合みたいなものをする機会が坂井市ではあるのか。中心となる子育て支援課と関係課との1対1の関係の集約なのか、関係課が全部一か所に集まってお互いの課の施策を子ども子育てというコンセプトのもとで確認するとか位置づけを見直すとか、そういうことはあるか。

【事務局】

今回の事業の見直しについては全部の課が集まることはない。機械的・データでのやり取りにおいて情報のやり取り、意見交換を行った。福祉部だと子ども子育て計画だけでなく福祉分野全部にわたって連携する体制は整っている。なかなか一堂に会するのは難しいのでその都度子育て支援課が中心となって担当部署に意見を求めるとかはある。

【会長】

今回の中でも「切れ目のない」という言葉が出てくる。切れ目がないというのは時間軸としてひとりのお子さんが成長していく過程で切れ目がないという意味が強いと思うが、同時に横のつながりの切れ目がないのも重要だと思うので、関係する担当課の切れ目がない横のつながりも作っていただければ。機会あるごとに話をしていただければ有難い。

### 【委員】

実際つながりは広がっていて、昨年度よりも教育委員会もどこの課もつながって話し合いの場や情報共有の場をもち、役割分担をしてお子さんのためにできる課がやっている。いろいろな課と繋がる機会が増えているので今後更に多くなると思っている。

### 【委員】

70 ページ。この間、子育てというのは18歳までと聞いたので、「小学校」ではなく「学校」と直していただけないか。

PDCAの計画・実施・実行・検証・評価・改善とあるが、表中では言葉が変わっているので統一した方がいい。

「見直」と「見直し」となっている。「見直し」に統一した方がいい。

「計画の立案」を「〇〇計画の立案」というように何を計画するのかを入れた方がよいと思う。

### 【会長】

文言の確認と手直しをお願いします。

70 ページ「広く周知していくことが重要です」のフレーズの大変大事なところ。届いてほしい所に届かないということがあって、全体としては広く行き渡っているが肝心かなめの所にその情報が行かないとか漏れることが起こり得る。相談してほしい人がいるのにそこにうまくいかないみたい。文字通り周知をどのように徹底していくのかということについても、ぜひ市の方で進めていただきたい。そのためには場合によってはワンストップみたいのところとか、孤立させないような形でなんとか連絡し合える関係性を作れるといいと思う。「うちは結構です」と遮断されてしまうと本当に情報が入ってこない。それは結果としてよくないので、情報の周知についても一工夫お願いをしたい。場合によっては母子手帳の交付の時にでも徹底するというような工夫が必要かと思う。

### 【会長】

ここまでで何かご意見はあるか。

### 【委員】

周知・啓発がどのくらいできているのかをモニタリングするというか、アンケートなどでその情報をどこで得たかとか、そういうことはしているか。しているのであれば、今どういう状況なのか教えてほしい。そういう視点が今回の計画に持っているのか。

### 【事務局】

20 ページ。定期的な教育・保育事業の満足度の調査でいろいろな項目がある。「保護者への伝達」で、満足 42.6%、やや満足 21.7%、普通 26.1%という結果で、ある程度情報は伝達されている。

「利用者間のネットワークづくり」では「普通」の方が多い。どのような媒体で情報を取得しているかまでは調査していない。

今後いかに情報を取っていただくような仕組みづくりを考えていきたい。具体的に言うと、会長が先ほどおっしゃった、母子手帳交付時に坂井市子育てアプリがあるということを知らせる。予算の中でも考えている。自分で情報を取ってもらう、または市が発信した情報で交流の場に出てきてもらう、呼び込む。ことを考えている。

#### 【会長】

これまででお気づきのところあれば

#### 【委員】

39 ページ、29 番。「総合的で科学的な判断」はおかしい。文章をまとめて後日提出する。

#### 【委員】

スポーツ少年団で 6 年間一生懸命頑張ってきたけど、中学校に入るとバレー部の顧問はバレーの知識や経験のない先生がただ単に練習をさせているだけ、働き方改革で月曜は部活なしになってきて、子どもたちのモチベーションも下がる。三国中学校でバレーボールをしても何にもならない、高校につながらない。ずっと頑張ってきたものが終わってしまうのは親としても残念。子どもとしても、中学になってもやろうと思っても、そういう現状を見て、部活見学に行っても遊んでいただけと言っていた。スポ少はすごくお金もかかるし、親としても続けてほしいと思っても子どもにそう言えない。スポ少の数も減っているし、スポ少によって強い弱い力の差があるため、バレーをさせたいと思う親も減っている。サッカーとかバスケとか多様化している中で、野球とバレーの二つで行くことも無理があるのではないかな。 スポ少に対する補助金はあるか。

#### 【事務局】

団に、指導に対しての補助金はある。微々たるもの。いろいろな問題がある。保護者の温度差、指導者のことなど。クラブチームに移行するものもある。保護者がお金をかけるようになる。

#### 【委員】

民生委員をしている。国の方針で各学校に民生委員と関わりなさいというような通達が出ていと思う。今は民生委員・児童委員となっている。昔は高齢者のことをしていたが、今は、虐待のことも重視しているので、いろんなことで民生委員にも助けてもらって、会合などにも声をかけてくれればいいのではないかなと思う。

#### 【会長】

35、36 ページ。番号では 3 番と 4 番。いずれも大事なことで、一つは人権にかかわること、もう一つは質の向上ということ。PDCA で評価する時に何を指標にして将来的に ABCD がつくこ

とになるのか。今後の評価を考えた上でも見通しを立てておいた方がいいかと思う。

#### 【事務局】

39 ページ施策番号 36 番の人権啓発活動の推進事業に関しては、人権擁護委員を通じて各学校への啓発活動を行っており、LGBT に関する講座を高校で開催するなどの実績がある。あらゆる方法で啓発し、回数とか実績が指標になる。

35 ページ施策番号 3 番陣形教育・保育の推進事業についても、保育指針の基本として明記されているため、保育・教育現場でも一人ひとりの子どもの人権を大切に、いじめの問題、人権に関する問題、国籍、障がい子どもなど、保育現場において日頃から保育に係っていく。どのような評価の区分・評価の軸という面では明確には出していない。

#### 【委員】

ことあるごとに子どもたちに伝えてはいるが、どこまで到達したとか、評価の基準は難しい。

ガールスカウトに所属している。クリスマス会など、行事においても人のいいところ探しなどを行い、女性活躍推進室に来てもらって一緒に取り組んでいる。

#### 【会長】

いずれにしても評価をすることになるので、どのような観点から評価を行うのか、指標を持っていた方がのちのちよい。

#### 【副会長】

保護者の相談を聞いているときに、どこまで保育士の気持ちが伝わっているかを考えさせられる。アンケートでは「相談する人がいる」という回答が多かったが、実際は本当に相談しているのかなと思って、日々保護者の顔色や子ども達の表情とかを見ていて、保護者に声掛けしている。相談してくれる人もいるが、全体に伝わっているのかと思う時もある。声掛けのタイミングやきっかけも難しいと思い日々悩んでいる。

#### 【事務局】

相談体制の充実がとても大事だと考えていて、横のつながりを持つというところで保育園で拾いきれなくても市役所にも相談先があるとか、タイミングをみつけて市にも繋いでいただくというような形で地域で孤立しないような子育ての支援体制を作っていくのが大事だと思っているので、気になる方がいれば市にも連絡いただければと思う。いろんな相談先があった方がいいとも思うので、園に限らず相談先を伝えていただければと思う。

#### 【会長】

相談する側にすれば、一番最初のとっかかりが必要だし、相談された側はそれを全て引き受けちゃうのではなくて、どこかに繋いでいくという仕組みができているとお互いに情報共有できるし結果として孤立させずに済むので、その体制を進めてもらえると有難い。

**【委員】**

気にかけてほしい保護者が、手続きで子育て支援課の窓口に行った時をとらえて声掛けをして、その結果をまた共有してもらい助かっている。母親も安心しておられた。相談員がとても身近に感じられる。お互いにできる支援を分けてできるようになっている。

**【会長】**

苦勞して子育てしている中で、親の気持ちが少しでも休まることが結果として、子どもへの接し方に繋がると思うので、すべて子供のため。親を楽にさせるためではない。

また気づいたところを事務局に寄せてください。

(2) 今後のスケジュールについて

**【事務局より説明】**

**【会長】**

ご意見ご質問はあるか。少し時間があるので、一人一言ずつご意見ください。

**【委員】**

毎回勉強させていただいて有難いと思っている。

**【委員】**

特別ない

**【委員】**

パブリックコメントに興味がある。教育委員会も匿名・非通知多い。聞くだけでよかったのかと疑問も残るが、言ってきた方にも意味があると思うので、パブリックコメントも、どういうものが来るのかなと感じた。すべて必須事項が入っていないと取り扱うことができないというルールは大事だと思うが、匿名で書いてくることにも重要なものもあるかなとも思うので、もしよかったら第6回会議でそういうものもお聞かせいただけたらと思う。

**【事務局】**

ルール上は、NGとなる。ご理解いただきたい。

**【委員】**

発表会が終わったばかりで、無記名の感想はたくさん書いてくる。それにより改善できることもあり、気づくこともある。無記名だからこそ言えることもあると思う。

今、保育園児はたくさん習い事をしていてすごく忙しい。遊び場があっても遊ぶ友達がいない。児童館もなくなっていくと友達の家に行くと勝手に冷蔵庫を開けたり、遊ぶだけ遊んで時間にな

るとそのまま帰ってしまったりするので、その辺も伝えていきたい。

**【委員】**

保護者の立場なので、先生方の意見も聞けて有難い。今は発達障がいの子が多く、子どもからも大変な話を聞く。発達障がいの子だけでなく、その親もちゃんとしてないのではないかと周りの保護者から見られている。偏見をもってほしくない。子ども達にも教育していく必要があると思う。子ども達の心も心配。保護者の皆さんにももっと理解してもらえるような場があれば。何かいい方法はないか。親も悩んでいる。

**【会長】**

保護者の啓発は大事。いじめの会合で被害者に注目されがちだが、我が子を加害者にしないという保護者の視点も大事だと発言している。坂井市でも同じようにそれが進めばいいと思う。

**【委員】**

ますます多様性が求められる時代の中で、何ができるか、何かをすれば効果が出るというものではないと思うが、どこにどう相談していいかわからないし、相談していいのか悪いのかすらわからないので、身近な保育園・学校の先生がきっかけになると思う。そこに相談してもいいんだという心理的な安全性を坂井市の中に広めておくことが大事。効果は検証しにくいかもしれないが、例えば発達障がいに関する学習とか LGBT に関する学習とかをもっと積極的にされてもいいと個人的に考えている。発達障がいも聴覚の過敏とか健常者にはわかりにくい部分で誤解もあると思うし、そういった部分をしっかり広めていくことが大事ではないか。

**【副会長】**

あの子はおかしいと言われる子も、実は甘えたいのではないかと思う自分がある。昔より発達障がいの子が多いのは、親が共稼ぎで働いているし核家族が増えてきているから十分にその子に向き合う時間が少ないので、そういう行動を起こすのかなと思うことがある。障がいだからではなく、気づいて欲しくてしているのではないかと思うこともあり、保護者ともゆっくり話をしたいと思っている。一人の人間としてゆっくりとその子を見て、何に困っているか、何がしてほしいのか見極める必要があると思う。

**【会長】**

だから日頃の保育士の役割が大事になってきますね。

## 4. その他

**【事務局】**

第6回会議について

## 5. 閉会

### 【副会長あいさつ】

園での中学生との交流会を通して、園児にとっても中学生にとってもこういう交流が必要だと感じた。そのためには大人の心と体が健康なことが大事だと思う。

(閉会)